

夢・思いやり・チャレンジ

# 千葉市学校教育推進計画

概要版

千葉市 / 千葉市教育委員会

# 「千葉市学校教育 推進計画」の概要

## 計画の基本的な考え方

### 計画策定の背景及び趣旨

#### 子どもを取り巻く社会状況の変化

少子高齢化の進行や高度情報化社会の進展に伴うさまざまな情報の氾濫、地球温暖化を中心とする地球環境問題の深刻化など、子どもを取り巻く社会状況が大きく変化している。こうした中、子ども一人一人に、確かな学力や豊かな心、健やかな体など、「生きる力」をはぐくむための新しい時代に対応した教育の充実・振興が求められている。

#### 本市学校教育の取り組みと課題

「わかる授業・楽しい教室・夢広がる学校」の具現化に向け、これまでさまざまな教育施策を展開し、多くの成果を挙げてきている。一方で、規範意識のさらなる向上や、地域の教育力を一層生かした教育活動の展開など、今後特に力を入れて取り組むべき課題も多い。

#### 保護者・教職員・市民の願い

市民への意識調査のなかで、はぐくみたい子どもの姿として「人を思いやる心を持った人になってほしい」、「目標に向かって最後まであきらめずに努力する子どもに育てたい」とする願いが保護者・教職員・市民の共通のものであることが明らかになっており、力を結集し、その実現を図っていく必要がある。

#### 計画策定の必要性

市民の願いやこれまでの取り組みの成果と課題等をもとに、本市の学校教育をさらに充実・発展させていく必要があること、また、改正教育基本法において、地方公共団体は国の計画を参酌し教育振興のための基本的な計画を定める旨規定されたことなどから、今後の新しい教育の目標や方向性を明らかにするとともに、それらを実現していくための具体施策や事業を盛り込んだ教育に関する計画を策定し、着実な取り組みを進めていく必要がある。

### 計画の位置付け

市の総合計画(新総合ビジョン及び実施計画)の個別部門計画として位置付け、着実な実施を図っていく。

### 計画の対象範囲と性格

幼稚園、小・中学校、高等学校及び特別支援学校の教育と、それに関連する重要施策を対象とするとともに、今後概ね10年先を見据えた千葉市学校教育の方向性を示す計画とする。

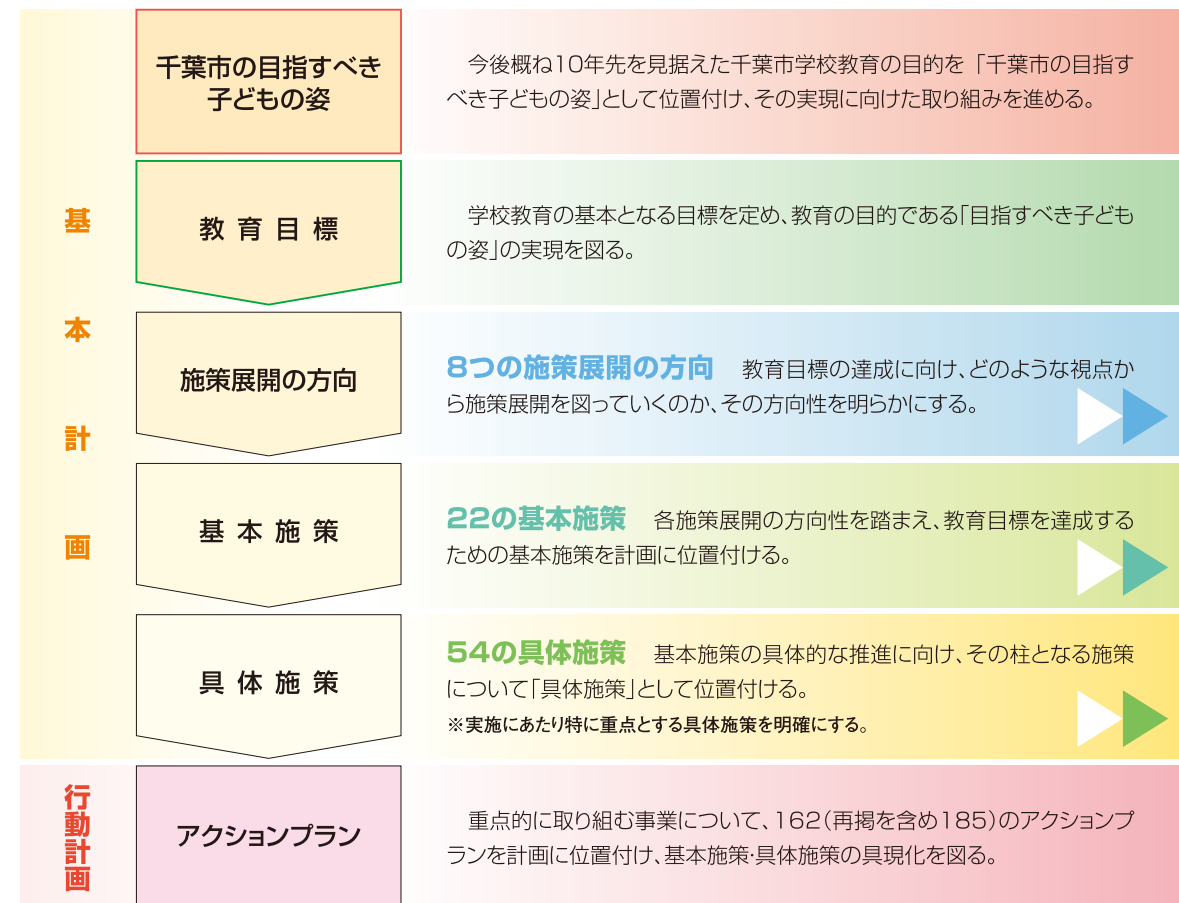
### 計画期間

原則として5年間とする。ただし、第1次の計画については「ちばビジョン21」との整合を図り、平成21年度を初年度とする7年間とする。

### 計画策定の7つの視点

- ①市民の信頼と期待 今後の学校教育の目的や方向性について、子ども・保護者・教職員・市民が共有化できるようにする。
- ②深化と充実 これまでの取り組みのさらなる充実を図る。
- ③新しい時代への対応 社会状況の変化に的確に対応した教育を推進する。
- ④施策の重点化 千葉市として重点的に取り組むべき事項の明確化を図る。
- ⑤学びの保証 教師が子どもに向き合える環境づくりや多様な教育的支援の充実を通して子どもの学びを保証する。
- ⑥連携の強化 学校・家庭・地域・行政による一体となった取り組みが進められるよう相互の連携を図る。
- ⑦点検と見直し 評価を通じた点検と見直しにより、計画及び施策のさらなる工夫・改善を図る。

### 計画の体系



### 「千葉市の目指すべき子どもの姿」と「教育目標」

#### 千葉市の目指すべき子どもの姿

夢と思いやりの心を持ち、チャレンジする子ども

#### 教育目標

自ら考え、自ら学び、自ら行動できる力をはぐくむ

- ◎自ら考える力 ◇将来の生き方について真剣に考える力 ◇他者を尊重し、他者の立場になって考える力
- ◎自ら学ぶ力 ◇興味や関心を持って積極的に学ぶ力 ◇ねばり強く課題に取り組む力
- ◎自ら行動できる力 ◇的確な判断のもとに進んで行動できる力 ◇シュートを打つ力(決断力と実践力)

# 施策体系

千葉市の目指すベネチアな子どもの姿

夢と思いやりの心を持ち、チャレンジする子ども

教育目標

自ら考え、自ら学び、自ら行動できる力をはぐくむ

学校・家庭・地域・行政の役割と相互の連携

学校

「わかる授業・楽しい教室・夢広がる学校づくり」のさらなる充実を図る

家庭・地域

「明るく・笑顔あふれる、ぬくもりのある家庭・地域づくり」を進める

行政

「千葉市らしい夢広がる教育環境」を創造する

四者の連携

連携と協同、そして力の結集により、教育効果の相乗効果を図る

## 8つの施策展開の方向

- I わかる授業を推進し、自ら学ぶ力を身に付けさせる
- II 社会性を備えた豊かな心をはぐくむ
- III 体力を高め、健康な体をはぐくむ
- IV 家庭の教育力を高め、地域の教育力を生かす
- V 子どもの学びを支える教育環境を整える
- VI 意欲と指導力のある教職員を確保・育成するとともに、教職員が職務に専念できる体制を整備する
- VII 多様な教育的支援を充実させるための教育環境整備を一層進める
- VIII 学校・家庭・地域・行政が一体となって、子どもの成長をサポートする

## 22の基本施策

- (1) 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の推進
- (2) 学びを深め、広げる教育の推進
- (3) 命を大切にする心や思いやりの心をはぐくむ教育の推進
- (4) 夢や希望をはぐくむ教育の推進
- (5) 豊かな情操をはぐくむ教育の推進
- (6) 体力向上の推進
- (7) 健やかな体の育成
- (8) 家庭の役割と機能を再確認するための方策推進
- (9) 地域の教育力を活用した家庭・学校への支援の充実
- (10) ルールやマナー意識をはぐくむ交流・連携活動の推進
- (11) 学校施設等の整備・充実
- (12) 教育環境の改善と特色ある学校づくりの推進
- (13) 学びの連続性を重視した教育の推進
- (14) 信頼される教職員の確保
- (15) 教職員の資質・指導力の向上
- (16) 教職員への支援体制の充実
- (17) 教職員の人事管理の適正化
- (18) 特別支援教育の推進
- (19) 不登校児童生徒への支援の充実
- (20) 国際化への対応
- (21) 教育の機会均等を図るための支援の充実
- (22) 学校・家庭・地域・行政の連携による取り組みの推進

## 54の具体施策

※ 部分は特に重点的に取り組む施策

- 1 新学習指導要領への確実な対応
- 2 確かな学力の育成に向けた「わかる授業」の推進
- 3 国語力の向上
- 4 理数教育の充実(「理科・算数・数学好き」児童生徒の育成)
- 5 児童生徒による学習成果発表の充実
- 6 情報教育の充実・推進
- 7 科学館・図書館・博物館等の活用
- 8 学校図書館機能の整備・充実
- 9 各種体験学習の推進
- 10 道徳教育の充実
- 11 環境教育の推進
- 12 いじめ等問題行動への対応
- 13 将来の生き方を学ぶキャリア教育の推進
- 14 郷土の歴史と文化等を学ぶ機会の充実
- 15 国際人を育てる国際理解教育の推進
- 16 読書活動の充実と読書習慣の定着
- 17 図書館との連携推進
- 18 芸術文化等に親しむ活動の充実
- 19 体力づくりの推進
- 20 健康教育の推進
- 21 食育の推進
- 22 家庭教育資料等による啓発
- 23 家庭への支援
- 24 放課後等の子どもの居場所づくり
- 25 地域人材を活用した学校支援
- 26 子どもの安全を見守る活動の推進
- 27 地域ぐるみによる子どもの健全育成の推進
- 28 学校施設・設備等の整備
- 29 学校の安全対策の充実
- 30 教材教具等の充実
- 31 学校適正配置の推進
- 32 地域特性を生かした特色ある学校づくりの推進
- 33 学校間・学校種間連携の推進
- 34 市立高等学校教育の充実
- 35 幼児教育の充実
- 36 優れた教職員の採用・登用
- 37 教職員の資質・指導力の向上に向けた各種研修の充実
- 38 教育研究の奨励
- 39 教職員のモラル向上
- 40 外部人材等を活用した教職員支援システムの整備
- 41 教職員の人事評価制度の実施
- 42 教職員表彰制度の実施
- 43 特別支援教育サポート体制の整備
- 44 体験活動を通じた社会性の伸長
- 45 特別支援学校の整備・充実
- 46 学校復帰への支援
- 47 外国人児童生徒の学びへの支援
- 48 国際交流の推進
- 49 私立学校等への助成
- 50 各種就学支援
- 51 学びの機会の提供
- 52 学校改善システムの構築
- 53 教育情報の発信
- 54 学校・家庭・地域・行政による連携システムの構築



# 「施策展開の方向」とアクションプラン

「施策展開の方向」とアクションプランの表記について ●■色の具体施策は特に重点的に取り組む施策 ●主な達成指標の「\*」は、平成19年度値

## I わかる授業を推進し、自ら学ぶ力を身に付けさせる

「教師は授業で勝負」を基本に、一人一人の子どもの実態をしっかりにとらえ、少人数指導や学習形態の工夫など、指導方法の工夫・改善を通して「わかる授業」を実践することにより、子どもに学習意欲と基礎的な知識・技能を身に付けさせていきます。

また、科学館、図書館、博物館等を活用した学習の積極的な展開や、思考力・判断力・表現力などを一層高めるための授業づくりにより、子どもに好奇心と主体的な学びの力をはぐくむとともに、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決する力を身に付けさせます。



理科支援員による授業支援

### 基本施策(1) 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の推進

#### 具体施策

##### 1 新学習指導要領への確実な対応

学習指導要領の改訂を踏まえ、新しい千葉市版年間指導計画を作成するとともに、各学校に改訂の趣旨や内容を周知することにより、新学習指導要領に適切に対応する。

##### 2 確かな学力の育成に向けた「わかる授業」の推進

学校二学期制の下、子どもたちに基礎・基本を確実に身に付けさせ、学力の向上を図るため、「わかる授業」の推進、確かな学力の育成に向けて、総合的な施策を推進する。

##### 3 国語力の向上

「読む」「書く」「聞く」「話す」といった言語活動の充実を図り、学びの基礎となる「考える力」や「感じる力」、「想像する力」、「表す力」をより一層伸ばす。

##### 4 理数教育の充実（「理科・算数・数学好き」児童生徒の育成）

児童生徒の科学的な見方や考え方の基礎を養い、科学技術の進歩に対応した理数教育を推進するため、自然事象や科学、算数・数学への興味・関心を高める理数科授業の一層の充実を図る。

#### アクションプラン

- 1 「千葉市版年間指導計画」の作成
- 2 教育課程研究協議会等の実施

- 3 学力状況調査の実施と活用
- 4 指導指針「21世紀を拓く」の作成と活用
- 5 少人数学習指導教員の配置
- 6 学習支援員（フレンドリーチューター）の配置
- 7 学校訪問指導の実施

- 8 学校図書館指導員による読書活動の充実推進（再掲）
- 9 学校図書館図書の実用（再掲）
- 10 朝読書の推進（再掲）
- 11 文集・詩集「ともしび」、読書感想文集「本だな」の発行（再掲）

- 12 理科支援員等の配置
- 13 小・中学校理科センターによる理科教育の振興
- 14 理数教育の充実（再掲）
- 15 科学館を活用した授業の展開（再掲）

#### 主な達成指標

● 学習指導要領に基づく「千葉市版年間指導計画」の作成	H20（現状）	H27（目標）
	移行期間における指導計画の作成	

● 「学校の勉強が好きだ」と肯定的に回答する児童生徒の割合	H20（現状）		H27（目標）	
	小5年生			
	*69%		80%	
中2年生				
*38%		50%		

● 児童生徒の月平均読書冊数	H20（現状）		H27（目標）	
	小学生			
	20.1冊		21.0冊	
中学生				
8.3冊		9.0冊		

● 「理科・算数・数学の勉強が好き」と肯定的に回答する児童生徒の割合	H20（現状）		H27（目標）	
	理 科			
	小5*86.6%		90.0%	
	中2*64.0%		70.0%	
算 数・数 学				
小5*71.0%		75.0%		
中2*53.0%		60.0%		

具体施策

5 児童生徒による学習成果発表の充実

児童生徒による日常学習成果の発表を通して、制作意欲の向上を図るとともに、進んで自己表現する力をはぐくみ、伸ばす。

6 情報教育の充実・推進

情報教育機器等の活用を通して、子どもたちの情報活用能力の育成を図る。

7 科学館・図書館・博物館等の活用

学びへの動機付けと幅広い知識の習得に向け、科学館や図書館、博物館、美術館、埋蔵文化財調査センター等を活用したさまざまな授業展開を推進する。

8 学校図書館機能の整備・充実

学校図書館における図書検索システムや図書館図書閲覧システムの整備・充実等により、調べ活動や読書活動のさらなる充実を図る。

アクションプラン

- 16 児童生徒の成果発表
  - ・絵を描く会の開催
  - ・総合展の開催
  - ・英語発表会の開催
  - ・音楽発表会の開催
  - ・文集・詩集「ともしび」、読書感想文集「本だな」の発行

- 17 情報教育支援員の配置
- 18 学校CIOの育成
- 19 学習コンテンツの開発と活用
- 20 情報モラル教育の推進

- 21 科学館を活用した授業の展開
- 22 図書館の活用推進
- 23 博物館・美術館・埋蔵文化財調査センター等との連携

- 24 学校図書館情報ネットワークシステムの整備推進
- 25 図書館図書の団体貸出の推進(再掲)

主な達成指標

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 「絵を描く会」、「総合展」への参加校	全小・中・特別支援学校による参加	

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 学習コンテンツを利用する学校の割合	35%	100%

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 科学館を授業の一環で利用する市内小学校の割合	*88.3%	100.0%

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 団体貸出用資料の貸出冊数(学校専用貸出及び団体用貸出の計)	*16,000冊	20,000冊



ティームティーチングで行う少人数指導

## II

# 社会性を備えた豊かな心をはぐくむ

道徳教育等を通して社会性や豊かな人間性を育てる教育に力を入れていくことにより、子どもに社会の形成者としての自覚と責任感を持って行動する力を身に付けさせていきます。また、地域等との連携を図りつつ、さまざまな体験活動などを通し、自然や生命の大切さを学び取れるようにするとともに、人を思いやる心や人とかかわる力をはぐくんでいきます。

さらに、キャリア教育の充実により将来の生き方を考える力を身に付けさせるとともに、読書活動のさらなる充実を通して豊かな心をはぐくんでいきます。



米作り体験学習

## 基本施策(3) 命を大切にする心や思いやりの心をはぐくむ教育の推進

### 具体施策

#### 9 各種体験学習の推進

農林業やボランティア活動など各種体験活動を通して、自主性を養うとともに、人や自然とかかわることにより、社会性や思いやりを持てる子どもたちを育成する。

#### 10 道徳教育の充実

人とかかわりや社会体験などさまざまな体験活動等を通して、道徳的な心情や判断力、実践する態度など、道徳実践力を育て、人間尊重の精神をはぐくむ。

#### 11 環境教育の推進

環境問題に主体的に対応できる人間を目指し、意欲的にかかわり、考え判断し、よりよい環境づくりや保全に配慮した行動が取れる子どもたちの態度をはぐくむ。

#### 12 いじめ等問題行動への対応

不登校やいじめなどの悩み・不安に対して教育相談を実施することにより、その解消を図る。

### アクションプラン

- 26 農山村留学の実施
- 27 移動教室の実施
- 28 少年自然の家の運営
- 29 自然教室の実施
- 30 小・中学校におけるキャリア教育の推進(再掲)
- 31 ボランティア教育の推進

- 32 人権教育の推進
- 33 情報モラル教育の推進(再掲)
- 34 道徳教育用教材の作成

- 35 環境教育教材の作成
- 36 環境学習モデル校の指定
- 37 ごみ分別スクールの推進

- 38 不登校やいじめに関する教育相談の実施
- 39 スクールカウンセラーの配置
- 40 スクールソーシャルワーカーの活用調査研究
- 41 ネット上のいじめへの対応

### 主な達成指標

●「係活動等責任を持って行っている」と回答する児童生徒の割合	H20 (現状)	H27 (目標)
	*85%	88%
	小学5年生	
	*83%	85%
		中学2年生

●「人が困っているときは、進んで助けている」と回答する生徒の割合	H20 (現状)	H27 (目標)
	74%	90%

●「総合的な学習の時間」等の年間指導計画に、環境に関するテーマ・内容を位置付ける学校	H20 (現状)	H27 (目標)
	全小・中学校での位置付け	

●全児童生徒数に対する不登校児童生徒数の割合	H20 (現状)	H27 (目標)
	*0.22%	0.20%
	*2.73%	2.55%
		小学生
		中学生

## 基本施策(4)

## 夢や希望をはぐくむ教育の推進

### 具体施策

#### 13 将来の生き方を学ぶ キャリア教育の推進

一人一人の子どもたちの個性の伸長を図りながら、社会的資質や態度を形成し、主体的に将来の生き方を考えることができる力をはぐくむ。

#### 14 郷土の歴史と文化等を 学ぶ機会の充実

郷土の歴史や文化についての理解を通し、千葉市民としての誇りや自信、郷土への愛着心をはぐくむ。

#### 15 国際人を育てる国際理解 教育の推進

外国語指導助手による英語活動・語学指導を充実させ、国際化の進展に応じた国際理解教育を推進するとともに、コミュニケーションを図る能力や態度の育成に努める。

### アクションプラン

#### 42 小・中学校におけるキャリア教育の推進

#### 43 高等学校におけるキャリア教育の推進

#### 44 地域教材の作成と活用

#### 45 埋蔵文化財を活用した出前授業

#### 46 博物館・美術館・埋蔵文化財調査センター等との連携(再掲)

#### 47 「千葉市の農業」の配布と活用

#### 48 ふれあいパスポートの発行配布

#### 49 小学校英語活動の推進

#### 50 外国語指導助手(ALT)の派遣

#### 51 中高一貫教育校における英語教育の展開

### 主な達成指標

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 職場体験学習を3日間以上実施する中学校の割合	75%	95%

	H20 (現状)	H27 (目標)
● ふれあいパスポートで施設を利用する児童生徒の割合	*32%	50%

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 「英語の勉強が好き」と肯定的に回答する生徒の割合(中学2年生)	*61%	70%

## 基本施策(5)

## 豊かな情操をはぐくむ教育の推進

### 具体施策

#### 16 読書活動の充実と読書習慣の定着

学校図書館指導員による個に応じた適切な図書のアドバイス等を通して、読書を楽しむ習慣の形成を図るとともに、調べ学習のための図書館環境を充実させ、生きる力と豊かな心の育成を図る。

#### 17 図書館との連携推進

図書館と連携し、調べ学習や読書活動の充実を図る。

#### 18 芸術文化等に親しむ活動の充実

優れた音楽や舞台芸術の鑑賞などを通して、子どもたちの豊かな感性と創造性をはぐくむ。

### アクションプラン

#### 52 学校図書館指導員による読書活動の充実推進

#### 53 学校図書館図書の充実

#### 54 朝読書の推進

#### 55 図書館図書の団体貸出の推進

#### 56 図書館見学・職場体験やおはなし会の実施

#### 57 子ども読書まつりの実施

#### 58 小・中学校音楽鑑賞教室、オーケストラコンサートの開催

#### 59 本物の舞台芸術の体験

#### 60 伝統文化を学び、伝統文化にふれる機会の充実

#### 61 青少年ミュージカルの実施

#### 62 ふれあい音楽クリニック・コンサートの実施

#### 63 美術館での鑑賞教育の推進

### 主な達成指標

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 児童生徒の月平均読書冊数	小学生	21.0冊
	中学生	9.0冊
	20.1冊	
	8.3冊	

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 団体貸出用資料の貸出冊数(学校専用貸出及び団体用貸出の計)	*16,000冊	20,000冊

	H20 (現状)	H27 (目標)
● オーケストラコンサート参加人数	4,231人	4,900人



### Ⅲ 体力を高め、健康な体をはぐくむ

遊びの楽しさを幼児期から感じ取らせるとともに、運動の特性に触れる楽しさや喜びを十分味わうことのできる教育を充実させることにより、運動への意欲を一層高め、体力を高めていきます。また、家庭との連携をもとに健康教育や食育等を通して、健康の保持増進に主体的に取り組む姿勢をはぐくんでいきます。



小学校陸上大会

#### 基本施策(6) 体力向上の推進

##### 具体施策

##### 19 体力づくりの推進

子どもたちの体力・運動能力の実態を踏まえ、運動の楽しさを味わうことのできる授業や運動部活動を展開し、子どもたちの主体的な基礎体力づくりを支援する。

また、子どもたちが体を動かす場や機会を確保する観点から、地域における身近な遊び場の整備を図る。

##### アクションプラン

- 64 新体力テスト、県運動能力証、市運動能力検定の実施
- 65 地域連携の強化による子どもの体力向上
- 66 小学校各種体育大会の開催
- 67 中学校体育大会の開催
- 68 中学校運動部活動指導者の派遣
- 69 地域スポーツ人材の活用実践への支援
- 70 子どもたちの運動や遊びの場の確保  
・学校体育施設等の活用推進  
・子どもたちの森公園の管理運営  
・都市公園の整備
- 71 総合型地域スポーツクラブの設立支援

##### 主な達成指標

	H20 (現状)	H27 (目標)
	● 県運動能力証の合格率	*24.0%

小学生

	H20 (現状)	H27 (目標)
	● 県運動能力証の合格率	*23.2%

中学生

#### 基本施策(7) 健やかな体の育成

##### 具体施策

##### 20 健康教育の推進

子どもたちの健康増進を図るため、子どもたちが健康の大切さを認識し、自ら健康な身体づくりに取り組めるよう、健康教育を推進する。

##### 21 食育の推進

子どもたちが日常生活における食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を身に付け、健全な食生活を営むことができるよう、食に関する指導を推進する。

##### アクションプラン

- 72 地域の専門医との連携による子どもの健康づくり
- 73 歯と口の健康づくりの推進
- 74 学校給食の充実
- 75 子どもたちの健康をはぐくむ総合食育の推進

##### 主な達成指標

	H20 (現状)	H27 (目標)
	● 12歳(中学1年生)のDMF指数(永久歯の一人あたり平均むし歯指数)	*1.36

	H20 (現状)	H27 (目標)
	● 朝食を必ず食べる児童生徒の割合	*88.0%



# IV

## 家庭の教育力を高め、地域の教育力を生かす

地域や学校、行政によるさまざまな働きかけを通して、家庭において、親子のふれあいを大切にしながら、子どもに自立の基礎となる基本的な生活習慣を身に付けさせるようにします。

また、社会生活や集団生活を営む上で必要なルールやマナーの定着は、学校教育のみならず家庭や地域による取り組みによるところが大きいことから、子どもへの声かけやあいさつ、親子交流活動などを推進することにより、学校と家庭、地域が一体となって、子どもに規範意識や社会性をはぐんでいけるようにします。

さらに、地域人材等を活用した学校支援など、地域ぐるみの教育を一層推進していきます。



おやじの会の方とブーメランづくり

### 基本施策(8)

### 家庭の役割と機能を再確認するための方策推進

#### 具体施策

##### 22 家庭教育資料等による啓発

子育て支援に関する情報を提供し、家庭教育・子育てに関する意識啓発やサポートを行う。

##### 23 家庭への支援

家庭の教育力の向上に向け、家庭における子育てについてのさまざまな悩みや相談への対応を行う。

#### アクションプラン

- 76 家庭教育資料の配布
- 77 「子育てハンドブック」の配布
- 78 子育て支援情報紙「いきいき子育て」の配布
- 79 地域における家庭教育支援の基盤形成
- 80 保育所(園)・幼稚園等における子育て支援の推進
- 81 公民館における子育て支援の推進

#### 主な達成指標

	H20 (現状)	H27 (目標)
●朝食を必ず食べる児童生徒の割合	*88.0%	90.0%

	H20 (現状)	H27 (目標)
●「家庭教育支援チーム」が行う子育てに関する相談活動への参加者数(延べ数)	50人	300人

### 基本施策(9)

### 地域の教育力を活用した家庭・学校への支援の充実

#### 具体施策

##### 24 放課後等の子どもの居場所づくり

小学校の施設等を活用し、放課後等に子どもたちが共に学び、交流できる場や機会を提供する。

##### 25 地域人材を活用した学校支援

学校外の社会人の指導力を学校教育の場に積極的に活用し、授業や部活動などにおいて専門的な指導を充実させ、学校教育の活性化を図る。

##### 26 子どもの安全を見守る活動の推進

地域との連携・協力の下、学校セーフティウォッチャーによる子どもたちの登下校の見守り活動やスクールガードアドバイザーの巡回指導を行うなど、地域ぐるみの学校安全体制の整備推進を図る。

#### アクションプラン

- 82 放課後子ども教室の推進
- 83 子どもルームの整備・運営
- 84 公民館での子どもたちの学習や活動の場の確保
- 85 学校体育施設等の活用推進(再掲)
- 86 子どもたちの森公園の管理運営(再掲)
- 87 「楽しい教室づくり」の推進(地域人材の活用)
- 88 特別非常勤講師の配置(社会人の活用)
- 89 中学校運動部活動指導者の派遣(再掲)
- 90 地域スポーツ人材の活用実践への支援(再掲)
- 91 学校・家庭・地域連携によるまちづくりの推進
- 92 学校セーフティウォッチャーの推進
- 93 「子ども110番の家」設置の推進

#### 主な達成指標

	H20 (現状)	H27 (目標)
●放課後子ども教室の年間実施回数	*29回	40回

	H20 (現状)	H27 (目標)
●学校・家庭・地域連携によるまちづくり推進事業への参加者数(延べ数)	*61,733人	68,800人

	H20 (現状)	H27 (目標)
●学校セーフティウォッチャーの登録者数	16,000人	24,000人

具体施策

27 地域ぐるみによる子どもの健全育成の推進

学校・家庭・地域・行政が連携し、地域ぐるみによる青少年の健全育成を推進する。

アクションプラン

- 94 青少年育成活動の推進
- 95 悩みや不安を抱えた青少年への支援
- 96 補導活動の実施
- 97 「青少年の日」「家庭・地域の日」の活動の推進

主な達成指標

●「青少年の日」つながりウィーク地域行事を実施する中学校区数	H20 (現状)	H27 (目標)
	40地域	56地域

V 子どもの学びを支える教育環境を整える

学校適正配置の推進や施設設備の整備などにより、子どもが、安全な環境のなかで安心して学べる教育環境を整えていきます。また、幼保小連携教育や小中一貫教育をはじめとする学校間・学校種間の連携による教育の充実など、学びや自立の基礎を確立するとともに、魅力ある学校づくりに向けた取り組みを推進していきます。



小学生の中学校体験学習

具体施策

28 学校施設・設備等の整備

校舎の耐震補強や改築、情報教育機器の整備等を計画的に推進し、子どもたちが安心して学び、充実した活動ができる教育環境の整備を図る。

アクションプラン

- 98 校舎・屋内運動場等の耐震補強
- 99 校舎の改築
- 100 校舎の改修整備
- 101 特別支援学級等の教室改修及び備品整備
- 102 学校給食センターの整備
- 103 校内LANの整備・充実
- 104 学習情報センターの整備・充実
- 105 情報教育センターの整備

主な達成指標

●学校施設の耐震化の割合(耐震化率)	H20 (現状)	H27 (目標)
	55%	100%

29 学校の安全対策の充実

子どもたちが安全に教育活動を行える環境整備を進めるとともに、防犯教育や避難訓練の実施など、安全対策の強化を図る。

- 106 防犯設備の整備
- 107 防犯等安全対策の推進

●不審者侵入に対する防犯訓練を実施する学校	H20 (現状)	H27 (目標)
	全小・中・特別支援学校での実施	→

30 教材教具等の充実

各学校に必要な教材が行きわたるよう、教材教具の計画的な整備を図る。

- 108 新学習指導要領に対応した教材教具の充実
- 109 地上デジタル放送への対応

●地上デジタル放送への対応が図られる普通教室等の割合	H20 (現状)	H27 (目標)
	-	100%

具体施策

31 学校適正配置の推進

学校規模の大小による教育環境の不均衡を是正するとともに、小規模校化や大規模校化によって生じる教育上・学校運営上の諸問題を解消することにより、子どもたちの教育環境の公平性を保障し、よりよい教育環境の整備と教育の質の充実を図る。

32 地域特性を生かした特色ある学校づくりの推進

地域の状況に応じた総合的な学習や体験的な学習など、各学校の創意工夫を生かした特色ある教育活動を推進する。

アクションプラン

- 110 小規模校化への対応
- 111 大規模校化への対応

- 112 特色ある教育活動の展開
- 113 学校評議員制度の充実(再掲)
- 114 特色ある学校づくり予算の充実

主な達成指標

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 適正規模校数の割合(稲毛高等学校附属中学校を除く)	52%	60%

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 特色ある学校づくりを展開する学校	全小・中・特別支援学校で展開	→

具体施策

33 学校間・学校種間連携の推進

教員の交流を生かした児童生徒の指導等、学校間の連携強化を推進する。また、幼稚園・保育所(園)と小学校間、小学校と中学校間など、校種間における教育課程の効果的な接続等についての調査・研究を行い、幼少期からの学びの連続性の充実を図る。

34 市立高等学校教育の充実

単位制や理数教育、国際交流など、市立高等学校の特色を生かした教育活動の充実を図る。

35 幼児教育の充実

生涯にわたる人間形成の基礎を培う幼児教育の充実を図る。

アクションプラン

- 115 幼保小連携教育の推進
- 116 小中連携・一貫教育の推進
- 117 中高一貫教育の推進
- 118 高等学校と大学連携教育の推進

- 119 単位制の実施
- 120 理数教育の充実
- 121 国際理解教育の推進
- 122 市立高等学校改革の評価・検証

- 123 幼保小連携教育の推進(再掲)
- 124 幼児教育支援体制の整備
- 125 幼児教育支援センターの運営
- 126 幼児教育を受ける機会の充実
- 127 私立幼稚園教材費の助成
- 128 私立幼稚園就園奨励費の補助

主な達成指標

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 小中一貫教育校の設置数(累計)	-	6校

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 高校生意識調査における「学校生活への満足度」	77%	84%

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 預かり保育を実施する幼稚園の割合	85.9%	92.5%



# VI

## 意欲と指導力のある教職員を確保・育成するとともに、 教職員が職務に専念できる体制を整備する

意欲ある教職員を育て、確保するとともに、ライフステージに応じた研修のさらなる充実を図ることにより、教職員が、教育への使命感と熱意を持って子どもの指導を行い、授業力や指導力など、教職員としての資質を一層高められるようにします。

また、子どもや保護者との相互の信頼関係の下に、よりよい教育が実現できるよう、教職員への支援に向けた体制整備を推進することにより、教職員が一人一人の子どもとじっくりと向き合えるような環境づくりを進めていきます。



教職員のコンピュータ研修

### 基本施策(14) 信頼される教職員の確保

#### 具体施策

##### 36 優れた教職員の採用・登用

使命感を持ち、熱意と愛情にあふれ、子どもたちや保護者等から信頼される優れた教職員を採用・登用する。

#### アクションプラン

- 129 教職インターンシップの推進
- 130 中学校教科担任教員の確保
- 131 教員採用選考方法の工夫改善

#### 主な達成指標

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 教員採用選考において、インターンシップ研修生が本市を受験する率	77%	85%

### 基本施策(15) 教職員の資質・指導力の向上

#### 具体施策

##### 37 教職員の資質・指導力の向上に向けた各種研修の充実

職務遂行に必要な研修や教職員のキャリアに応じた研修を計画的に実施し、教職員の資質や指導力の向上を図り、優れた教育実践の普及を目指す。

#### アクションプラン

- 132 ライフステージに応じた研修の実施
- 133 教職員のニーズに応じた研修の実施
- 134 千葉市教育の中核を担う教職員の育成(現場研究員による研究・内地留学・長期研修・海外派遣研修)
- 135 特別支援教育研修の実施

#### 主な達成指標

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 全教職員に対する専門研修受講者の割合	94%	100%

##### 38 教育研究の奨励

本市の教育活動をより充実させ、各学校の教育力を高めるため、研究学校を指定して教育課題の解明に向けた研究を行うとともに、意欲あふれる教職員を賞揚し、優れた教育実践の蓄積とその成果の普及を図る。

- 136 小・中学校研究学校の指定
- 137 教育研究奨励賞による顕彰
- 138 教職員教育研究発表会の実施
- 139 教育研究の推進と活用
- 140 千葉市教育研究会との連携

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 出前講座等により研究成果を校内研究で取り上げる学校の割合	16%	40%

##### 39 教職員のモラル向上

本市教職員一人一人が自分の立場と職責を自覚し、服務規律を遵守するよう促す。

- 141 教職員服務規律の確保

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 学校管理訪問の年間実施学校数の割合	全小・中・特別支援学校の1/3の学校で実施	→

## 基本施策(16)

## 教職員への支援体制の充実

### 具体施策

#### 40 外部人材等を活用した教職員支援システムの整備

学校現場において教員が充実した学校教育活動を行うため、また、子どもと向き合う時間を拡充するための具体的施策を推進する。

### アクションプラン

- 142 NPO「ちば教育夢工房」(仮称)による支援の推進
- 143 校務のIT化の推進
- 144 教職員の勤務負担軽減
- 145 教職員ヘルシーシステムの整備
- 146 CHIBAスクールレスキュー制度の実施
- 147 学校問題解決支援体制の整備

### 主な達成指標

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 教員の校務用コンピュータ整備率	17.6%	100.0%

## 基本施策(17)

## 教職員の人事管理の適正化

### 具体施策

#### 41 教職員の人事評価制度の実施

教職員の資質能力及び職務に対する意欲の向上を図り、学校の教育力を高めるとともに、活力があり信頼される学校づくりを目指す。

#### 42 教職員表彰制度の実施

研究実績や教育実践に基づく顕彰により、優秀で多様な能力を持った教職員の育成を図る。

### アクションプラン

- 148 目標申告制度の充実と業績評価の検討及び試行
- 149 教育研究奨励賞による顕彰(再掲)

### 主な達成指標

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 全市立学校長を対象とした目標申告に関する面接の実施	実施	

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 教育研究奨励賞受賞者累計数(昭和36年から)	994人	1,169人



初任者研修(理科実験研修)

Ⅶ

# 多様な教育的支援を充実させるための教育環境整備を一層進める

発達障害を含む障害のある子どもの教育的ニーズに応じた適切な支援体制を整備することにより、一人一人の子どもに、自立と社会参加の力を身に付けさせていきます。

また、外国人児童生徒や海外帰国児童生徒の増加が予想されるなかで、こうした子どもの教育環境を一層整備するとともに、不登校児童生徒等の学びの機会を充実させていきます。



留学生との交流

## 基本施策(18) 特別支援教育の推進

具体施策	アクションプラン	主な達成指標									
<p><b>43 特別支援教育サポート体制の整備</b></p> <p>LD,ADHD,高機能自閉症等の発達障害を含めた障害のある児童生徒に対する特別支援教育の支援体制の整備を推進する。</p>	<p>150 特別支援教育指導員の配置</p> <p>151 学校訪問相談員の派遣</p> <p>152 障害のある子の学校生活のサポート</p> <p>153 特別支援学級等の教室改修及び備品整備(再掲)</p> <p>154 特別支援学校と小・中学校との連携教育の推進</p> <p>155 障害のある幼児・児童生徒の就学支援</p> <p>156 特別支援に関する教育相談</p> <p>157 特別支援教育研修の実施(再掲)</p> <p>158 特別支援連携協議会の設置</p>	<p>●学校訪問相談員による指導助言により、指導の仕方や学校体制が改善された割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20 (現状)</th> <th>H27 (目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>*60%</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>*50%</td> <td>60%</td> </tr> </tbody> </table>		H20 (現状)	H27 (目標)	小学校	*60%	70%	中学校	*50%	60%
	H20 (現状)	H27 (目標)									
小学校	*60%	70%									
中学校	*50%	60%									
<p><b>44 体験活動を通じた社会性の伸長</b></p> <p>就労体験や宿泊体験活動を通じて、障害のある児童生徒の社会性をはぐくみ、コミュニケーション能力の向上を図る。</p>	<p>159 就労体験の支援</p> <p>160 長柄げんきキャンプの実施</p> <p>161 長柄ハッピーキャンプの実施</p>	<p>●長柄ハッピーキャンプに参加した後、学校や家庭において良い変容が見られる割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20 (現状)</th> <th>H27 (目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>*50%</td> <td>60%</td> </tr> </tbody> </table>		H20 (現状)	H27 (目標)		*50%	60%			
	H20 (現状)	H27 (目標)									
	*50%	60%									
<p><b>45 特別支援学校の整備・充実</b></p> <p>「千葉市における特別支援教育のあり方に関する検討会議」の答申を受け、高等特別支援学校の設置や市内の特別支援学校の再編など、整備充実に向けた検討を行う。</p>	<p>162 高等特別支援学校の設置</p> <p>163 特別支援学校の再編検討</p>	<p>●高等特別支援学校の設置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20 (現状)</th> <th>H27 (目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>-</td> <td>設置</td> </tr> </tbody> </table>		H20 (現状)	H27 (目標)		-	設置			
	H20 (現状)	H27 (目標)									
	-	設置									

## 基本施策(19) 不登校児童生徒への支援の充実

具体施策	アクションプラン	主な達成指標									
<p><b>46 学校復帰への支援</b></p> <p>適応指導教室等における個に応じた指導により、学校生活復帰に向けた支援を行う。</p>	<p>164 適応指導教室の設置及び運営・管理</p> <p>165 不登校やいじめに関する教育相談の実施(再掲)</p> <p>166 教育相談指導教室の運営</p>	<p>●不登校児童生徒のうち登校できるようになった児童生徒の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20 (現状)</th> <th>H27 (目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>*24.1%</td> <td>30.0%</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>*29.2%</td> <td>35.0%</td> </tr> </tbody> </table>		H20 (現状)	H27 (目標)	小学生	*24.1%	30.0%	中学生	*29.2%	35.0%
	H20 (現状)	H27 (目標)									
小学生	*24.1%	30.0%									
中学生	*29.2%	35.0%									



具体施策

47 外国人児童生徒の学びへの支援

帰国・外国人児童生徒の適応指導と特性を伸長させるための指導の充実を図る。

48 国際交流の推進

海外の学校や市内のインターナショナルスクールの子どもたちとの交流活動を行うことで、異文化理解を深める。

アクションプラン

- 167 外国人児童指導教室の設置
- 168 外国人児童生徒指導協力員の派遣

- 169 姉妹友好都市との交流
- 170 インターナショナルスクールとの連携

主な達成指標

	H20 (現状)	H27 (目標)
●日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒で指導を受けている児童生徒の割合	98%	

※多言語化の増加が予想される中、よりきめ細かな対応により現状の98%を維持していく。

	H20 (現状)	H27 (目標)
●海外の学校との交流活動を実施している学校数	17校	30校

具体施策

49 私立学校等への助成

私立学校への就学上の経済的負担の軽減を図る。

50 各種就学支援

経済的理由により就学が困難な児童生徒への支援を行う。

51 学びの機会の提供

学校に行けない児童生徒や中学校の課程を修了しなかった義務教育未就学者等に対して、学習の機会を提供する。

アクションプラン

- 171 私立幼稚園就園奨励費の補助(再掲)
- 172 私立幼稚園教材費の助成(再掲)
- 173 私立高等学校等への助成

- 174 就学援助
- 175 育英資金の支給

- 176 e-ラーニングの実施
- 177 中学校夜間学級の設置

主な達成指標

	H20 (現状)	H27 (目標)
●預かり保育を実施する幼稚園の割合	85.9%	92.5%

	H20 (現状)	H27 (目標)
●入学説明会等において就学援助制度に関する保護者への説明を実施する学校	全小・中学校での実施	

	H20 (現状)	H27 (目標)
●不登校児童生徒がいる学校でe-ラーニングを活用している割合	-	50%

## 学校・家庭・地域・行政が一体となって、 子どもの成長をサポートする

学校・家庭・地域・行政がそれぞれの役割を踏まえ、互いの連携を下に、地域特性等を生かした特色ある学校づくりが一層進められるよう、学校評価等による学校改善に向けたシステムづくりを進めます。

また、学校教育のさらなる充実に向け、地域の教育的資源と力を取り込む仕組みづくりを進めるなど、学校・家庭・地域・行政が一体となって子どもの成長をサポートする体制を構築していきます。



子どもの安全を見守るセーフティウォッチャー

### 基本施策(22)

### 学校・家庭・地域・行政の連携による取り組みの推進

#### 具体施策

##### 52 学校改善システムの構築

学校が自校の課題を的確に捉え、目標を明確にした上で、学校教育を展開し評価することにより、教育活動の改善を図る。また、自己評価、学校関係者評価等を通して、開かれた学校づくりと説明性の向上を図る。

##### 53 教育情報の発信

教育上の課題等を学校・家庭・地域・行政が共通認識し、連携して対応するため、教育情報紙やホームページを通じて、本市の教育施策や各学校の情報を積極的に提供する。

##### 54 学校・家庭・地域・行政による連携システムの構築

学校教育の充実に向け、学校と家庭、地域が連携して取り組めるよう、行政が中心となって相互の連携に向けたシステムづくりを進める。

#### アクションプラン

- 178 学校評議員制度の充実
- 179 学校評価システムの実践研究

- 180 教育広報紙等による教育情報の発信
- 181 学校情報の発信

- 182 「学校支援システム」(仮称)の整備
- 183 地域ぐるみの学校安全体制の整備
- 184 NPO「ちば教育夢工房」(仮称)による支援の推進(再掲)
- 185 「夢・思いやり・チャレンジ基金」(仮称)の設置

#### 主な達成指標

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 学校関係者評価を実施している学校の割合	*94%	100%

	H20 (現状)	H27 (目標)
● 学校ホームページの定期的更新を実施している学校の割合	95.6%	100.0%

	H20 (現状)	H27 (目標)
● NPO人材の活用学校数	小学校	90校
	中学校	30校
	—	—

# 学校・家庭・地域・行政の役割と 施策展開の方向

## 今後10年先を見据えた千葉市学校教育の指針



千葉市の目指すべき子どもの姿

夢と思いやりの心を持ち、チャレンジする子ども

教育目標

自ら考え、自ら学び、自ら行動できる力をはぐくむ

学校

「わかる授業・楽しい教室・  
夢広がる学校づくり」の  
さらなる充実を図る

- わかる授業を推進し、自ら学ぶ力を身に付けさせる
- 社会性を備えた豊かな心をはぐくむ
- 体力を高め、健康な体をはぐくむ

家庭・地域

「明るく・笑顔あふれる、  
ぬくもりのある家庭・  
地域づくり」を進める

- 家庭の教育力を高め、地域の教育力を生かす

行政

「千葉市らしい夢広がる  
教育環境」を創造する

- 子どもの学びを支える教育環境を整える
- 意欲と指導力のある教職員を確保・育成するとともに、教職員が職務に専念できる体制を整備する
- 多様な教育的支援を充実させるための教育環境整備を一層進める

学校

家庭

地域

行政

連携と協同、そして力の結集により、教育効果の相乗効果を図る

- 学校・家庭・地域・行政が一体となって、子どもの成長をサポートする





# 千葉市学校教育推進計画

概要版

発行

平成21年3月

編集・発行

千葉市教育委員会教育総務部企画課

〒260-8730 千葉市中央区問屋町1番35号

TEL 043(245)5908